

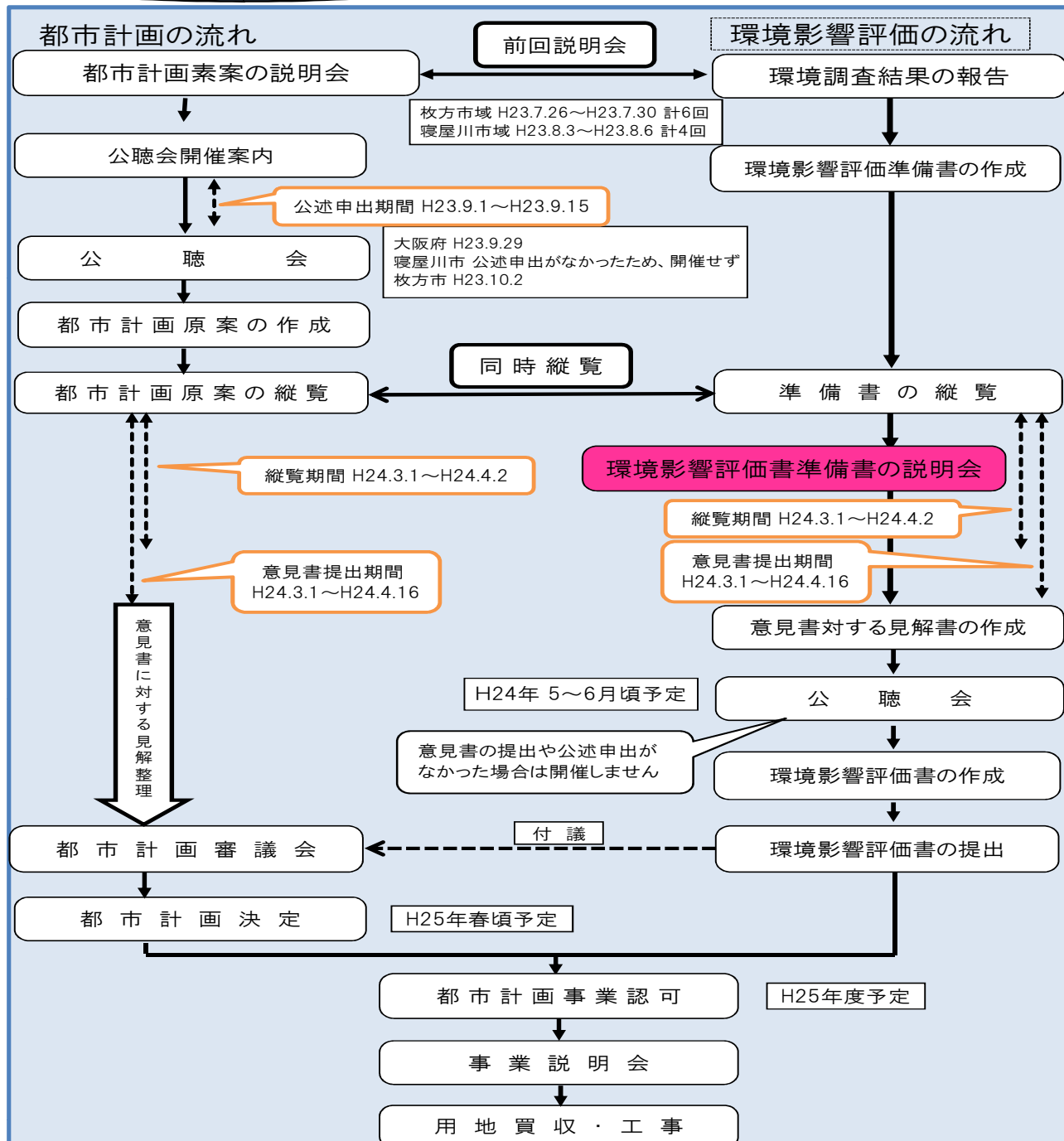
京阪本線(寝屋川市・枚方市)連続立体交差事業の概要

資料1

事業の計画

- ・事業延長：L=約5.5km（寝屋川市域 約2.1km、枚方市域 約3.4km）
- ・対象駅：3駅（香里園駅、光善寺駅、枚方公園駅）
- ・施工方式：高架方式
- ・除却踏切数：21箇所（※開かずの踏切 20箇所）
（※ピーク1時間当たりトータル40分以上閉まっている踏切のこと）
（枚方市域 15箇所すべて開かずの踏切、寝屋川市域7箇所中、開かずの踏切6箇所）
（注：赤井堤防踏切は両市に跨っているため両市でカウント）
- ・関連事業：枚方八尾線、木屋田井線(旧国道170号)の平面化、中振交野線、北中振線、環境側道、駅前広場の整備
- ・事業主体：大阪府、寝屋川市、枚方市

予定スケジュール



※予定時期については手続きの関係上変更になる可能性があります。

事業による効果

- ・鉄道の高架化、枚方八尾線、北中振線、中振交野線、環境側道の整備、木屋田井線(旧国道170号)を平面化すると

1.安全で快適なまちの形成

- ・踏切を除去することで交通渋滞が解消され、踏切事故もなくなります。
- ・自動車や、自転車、歩行者の流れがスムーズになります。
- ・環境側道等の整備や木屋田井線の平面化により消防活動困難地域への緊急車両の到達がスムーズになります。



- ・鉄道の高架化、駅前広場、北中振線の整備をすると

2.拠点整備による地域の活性化

- ・鉄道による市街地の分断が解消され、まちの一体化を図ることにより安全性・快適性の向上が図られ地域の活性化に貢献します。
- ・高架下の効果的な活用により、地域の活性化を図ることができます。
- ・駅前広場の整備により交通結節機能の強化が図れます。
- ・旧国道170号跨線橋の平面化により地域分断が解消され、沿線の土地活用の促進が図れます。



- ・鉄道の高架化と合わせて駅舎もリニューアルすると

- ・関連する施設(駅前広場)を整備すると

3.良質な景観の形成と人にやさしい駅の形成

- ・景観や地域性に配慮した駅舎や駅前広場の整備により、優れた街並み景観や、安全で快適な駅を形成します。
(エレベーターや誘導ブロック等を設置しバリアフリーに配慮した高架駅の整備)



連続立体交差事業説明図

